

官員錄 文章家 詩家 事業家 畫家
 政治家 宗教家 漢學家 小說家 醫士
 名士 雜辯家 國學家 教育家 非道家
 博學家 高業家 農業家 書家 醫業家

一覽三
博識顯

番附百種

金滿家 風流家 三國人物一覽 著名神社 三業見立一覽
 茶人 圍碁家 山川見立一覽 著名寺院 有之無以物
 辨護士 將碁家 三國長者鑑 四季遊覽鑑 無之有以物
 俠客鑑 茶業家 藝娼妓花競 論外見立鑑 三國多者幅對

立見對福者今現

業 醫	業 茶	士 證 辨	學 南	學 漢	業 農	業 事	家 治 政
佐伊尾 藤崎 田小 左行 衛術 射門正	深駒深 山田非 始彦友 三之 郎丞郎	原林森 田政谷 勵治三 藏郎雄	二橋岡 宮村 吉 嚴淳 檀風胤	龜町有 井馬 井百 改百 堂治鞭	板辻古 垣喜市 翠代與 夫三一	太伊白 田藤石 小傳直 三郎七治	粟土尾 原居崎 亮光行 一華雄
園 基	業 將	人 茶	書	家 畫	教 佛	說 小	人 詩
世原安 古前 惣忠 十左 郎衛 則門	平鳥近 藤羽 利 竹重平	本長若 居井原 洞宗 健玄 貞齋固	野江伊 田川東 半近祐 谷情賢	神磯太 保部田 木百樓 石麟雲	林渥勝 美峯 道契大 永緣徹	若田中 林付田 彌松芦 陀北亭 六北亭	櫻山福 木田原 春松公 山齋亮
師 醫	士 紳	客 俠	文 漢	長 市 郡	育 教	人 俳	業 商
森今淺 正川 道通三	長田小 谷川中 治治新 郎郎左 右衛五 門衛門郎	今谷嶺 村澤山 次米小 郎太 吉郎市	高岡谷 野島城 清安 雄平東	長滿酒 岡井 井勇禮 氏之 克助一	稻阿川 垣保 村友 茂一 郎郎寬	田大山 中主本 果群素 權雨問	田諸九 中戶鬼 武清紋 兵衛六七

○三重縣職員錄

知事(年俸三千圓)
從四位 成川 尙義
勳二等 池 永 端
書記官(年俸千五百圓)
從六位 市岡 昭 智

收稅長(年俸千圓)
從六位 岩 下 敬 藏
勳六等 陸軍步兵小尉
參事官(年俸六百圓)
從七位 鈴 木 隆

監獄署長
高等官 新妻 駒 五 郎
七等 知事官房

○第一課
三級俸 竹田 喜 太 郎
四級俸 進 藤 彬
十級俸 平 賀 正 文

長三級俸 橋 本 三 郎
六級俸 玉 井 丈 次 郎
七級俸 永 谷 習 吉

八級俸 內 田 彌 一 郎
八級俸 永 山 嘉 一

九級俸 栗 山 武 尾
大 山 元 史
栗 田 寬 治
千 葉 喜 作
吉 田 郁

拾圓 清 水 兼 三 郎
川 合 左 一 郎
中 川 清

九圓 長 谷 川 幸 三 郎
稻 垣 小 四 郎
島 崎 武 之 助

○第二課
長三級俸 田 中 政 信
六級俸 玉 井 修 眞

七級俸 長 井 忠 三 郎
福 井 清 生
前 田 玄 造

八級 藤 谷 信 一
後 藤 又 次 郎
與 田 民 之 助

九級 豐 田 直 藏
信 太 悅 藏
奧 田 馨 一

拾圓俸 中 條 碩 一 郎

九圓 平 田 彌 兵 衛
八圓 水 谷 輝 之
○土木事務所
六級俸 與 平 貞 一
八級俸 岩 崎 吉 哉

全 岡 田 丈 吉
丸 山 龍 太 郎
片 岡 宇 太 郎

十級 山 內 篤 敬
齋 木 良 藏
齋 川 專 太 郎

○第三課
長 竹 田 喜 太 郎
六級 鈴 木 敏 勝

七級 上 野 錄 二 郎
駒 田 元 藏
菊 澤 庸 治

八級 阿 部 利 政
山 田 實 之 助
山 田 誠 一 郎

長 山 田 誠 一 郎
長 英 生
阿 曾 元 之 助

本 橋 保 次 郎

九級 西 川 作 右 衛 門
十級 園 村 長 次 郎
拾圓 吉 田 覺 太 郎

○第四課
長四級 飯 尾 義 本
六級 山 崎 要 八

全 中 根 啓 造
八級 野 村 忠 誨
全 小 南 恒 助

九級 伊 藤 唯 平
九級 辻 六 次 郎
十級 清 水 源 治 郎

○警察部
拾圓 柳 川 覺 之 助
福 喜 多 長 生

○警部(七級)
八級 岩 下 敬 藏
九級 永 井 弘 藏

○桑名警察署
九級 酒 井 茂 弘
四級 永 田 幸 太 郎

長五級 瀧 元 二 郎

八級 加 藤 俊 一 郎
○大泉原警察署
長 梅 村 吉 次 郎

○四日市警察署
長四級 山 森 德 三 郎
八級 奧 山 永 太 郎

九級 向 井 英 太 郎
八級 岩 片 勝 司

○關警察署
長七級 藁 谷 鶴 藏
九級 友 田 辰 雄

○神戸警察署
長九級 渡 部 乙 橘
○津警察署(安濃兼)

長四級 永 田 幸 太 郎
八級 中 村 要 彌

全 吉 村 辨 次 郎
九級 渡 邊 恒 三 郎

○久居警察署
長六級 西 塚 宗 吾

○松阪警察署
長七級 石 井 茂 之 進
九級 山 田 涌 一 郎

○川俣分署
福 島 敬 六

○相可警察署
長 山 內 猪 之 助
○宇治山田警察署
長四級 玉 置 仙 彌
九級 大 河 平 親 貞

○宇治山田警察署吉津分署
警部九級 蒲 原 良 吉
○上野警察署
長五級 丹 羽 孚
八級 岸 成 記

九級 柏 木 彌 太 郎
○名張警察署
八級 平 田 行 雄

○鳥羽警察署
七級 池 永 和 七 郎
九級 村 田 莊 之 助

○尾鷲警察署
長 大 村 福 五 郎
○木本警察署
長 內 田 久 太 郎

○收稅部
三級 川 島 準 次 郎
七級 村 瀬 賢 三 郎

○直稅課
三級 川 島 準 次 郎
七級 村 瀬 賢 三 郎

○大泉原收稅署
八級 關 時 晴
九級 伊 藤 亮
十級 西 原 吉 亮

○桑名收稅署
六級 小 島 猪 之 介
八級 丸 林 勝 三 郎
九級 岡 田 音 五 郎

○龜山收稅署
七級 稻 垣 德 男
九級 鈴 木 弘 德
十級 渡 邊 瀧 右 衛 門

○白子收稅署
六級 菅 森 峰 太 郎
九級 菅 森 峰 太 郎
十級 原 和 十

○四日市收稅署
五級 田 中 好 謙
八級 松 村 勝 正
九級 秋 山 勝 知

十級 藤 谷 網 二
○龜山收稅署
八圓 永 岡 敬 三 郎
拾圓 永 岡 敬 三 郎

○四日市收稅署
八圓 大 橋 克 巳

○白子收稅署
十級 菅 森 峰 太 郎
九級 菅 森 峰 太 郎
十級 原 和 十

○津收稅署
 長六級 濱口秀陽
 十級 川合博次
 八級 角田忠誠
 八級 小野寺新次郎
 八級 大井順之介
 ○久居收稅署
 長七級 岡義之助
 九級 高木敏行
 十級 岸本龍太
 堤津龜四郎
 藤森良寬
 八級 松岡直藏
 ○松阪收稅署
 長五級 城正隆
 九級 七里探
 十級 小久保義雄
 八級 中村英藏
 八級 山田猛
 八級 野島熊太郎
 ○相可收稅署
 長七級 久我清民
 九級 安保源之助
 十級 松尾龜太郎
 平尾久太郎
 ○宇治山田收稅署
 長四級 正八位 後藤義
 八級 虎尾龍太郎
 九級 辻勢三郎
 大西明
 十級 杉本莊左衛門
 岡田一男
 八級 高橋富太兵衛
 ○上野收稅署
 六級 前川莊太郎
 九級 藤田晉
 十級 稻垣猪之助
 中村幸吉
 北川守藏
 川北貫一郎
 八級 稻森斧次郎
 ○名張收稅署
 八級 安倍多計志
 十級 今井負次郎
 中井清太郎
 大藪龜之輔
 相川三之助
 ○鳥羽收稅署
 七級 松平友三郎
 十級 若原鏞太郎
 八級 村山房男
 八級 瀧本嘉一郎
 八級 辻繁藏
 ○尾鷲收稅署
 八級 高田官吾
 十級 服部準三
 小島晉
 八級 橋本藤太郎
 ○木本收稅署
 長八級 太田資良
 九級 沼田直智
 十級 青木千吉
 阿比子酉次郎
 拾圓 小山彌之助
 八圓 田川源次郎
 ○監獄署
 長典獄 新妻駒五郎
 監獄書記 中林尙古
 八級 太田彌三郎
 十級 丑島時行
 九級 伊藤周造
 八級 伊藤周造
 看守長 渡邊武直
 十級 伊藤孝之
 八級 三田村傳
 ○醫務所
 長月 白井亦太郎
 月 松岡俊造
 拾圓 楓井亨太郎
 ○柔名外役所
 看守長 川合八次郎
 九級 川合八次郎
 監獄醫 一森彦四郎
 月 八圓 一森彦四郎
 ○宇治山田監獄支署
 監獄書記 西尾壽繁
 七級 西尾壽繁
 看守長 佐々木平三郎
 八級 橋村親正
 監獄醫 寺田縫之助
 月 拾圓 寺田縫之助
 ○四口市監獄支署
 八級 山内彌十郎
 看守長 谷口谷
 九級 谷口谷
 七圓 小池新三郎

監獄醫
 月 桑原敬忠
 拾圓 桑原敬忠
 ○桑名郡役所
 郡長 (年俸八百圓)
 高等官七等 松岡利彌
 正七位 山田光壽
 勳六等 都筑敦厚
 八級 廣田則孝
 十級 松岡喜胤
 佐藤正時
 太田友次郎
 拾圓 河合庄吉
 大橋三造
 九圓 早川與三郎
 七圓 木村重威
 ○岡縣郡役所
 郡長 (年俸六百圓)
 高等官七等 田邊雷藏
 從七位 清水成美
 書記八級 清水成美
 十級 松岡諒三
 大塚喜一郎
 ○三重朝明郡役所
 郡長 (年俸八百圓)
 高等官六等 酒井禮一
 正七位 山本兄熊
 勳六等 毛利吉次郎
 八級 品川直方
 九級 眞崎賴次郎
 十級 木村一郎
 味岡格太郎
 千代田次郎
 甲斐鑑雄
 拾圓 石川學太郎
 九圓 駒木根錠太郎
 ○鈴鹿郡役所
 郡長 (年俸六百圓)
 高等官八等 中山光大
 從七位 清水昌連
 書記八級 三田靜止
 九級 安永良政
 ○奄美河曲郡役所
 郡長 (年俸六百圓)
 高等官八等 石井義忱
 正八位 新井頼暉
 書記九級 新井頼暉
 諸收入分任收入官吏
 十級 樋口尙政
 西谷忠實
 拾壹圓 櫻井邦太郎
 九圓 荒川致慎
 七圓 宮村飛佐治
 黑田寅治郎
 島岡章雄
 ○安濃郡役所
 郡長 (年俸六百圓)
 高等官七等 柳原具致
 從七位 柳原具致
 ○飯高飯野郡役所
 郡長 (年俸八百圓)
 高等官七等 小野鐵男
 十級 藤林方之
 中村與惣五郎
 中村蕃藏
 佐地田幾男
 九圓 中尾一規
 六圓 吉川末男
 ○一志郡役所
 郡長 (年俸六百圓)
 高等官七等 日置藤夫
 從七位 谷口尙志
 書記七級 谷口尙志
 八級 江崎貫一郎
 九級 山本達次郎
 十級 丹羽省藏
 中山其次郎
 佐脇勝太
 島岡定
 九圓 須田松太郎
 八圓 竹村周次郎
 ○飯高飯野郡役所
 郡長 (年俸八百圓)
 高等官七等 山本如水
 從七位 山本如水

社神ノ名著

皇大神宮 度會郡宇治 垂仁天皇二十五年 廟內宮

豐受大神宮 同山田豐川町 雄略天皇廿三年 廟外宮

月讀宮 同北中村 平城天皇御宇 內宮ノ別宮
 月夜見宮 同山田宮後町 外宮ノ別宮
 朝熊神社 度會郡朝熊村 垂仁天皇御宇 內宮ノ攝社
 結城神社 安濃郡藤方村 祭神宗廣朝臣 別格官幣社
 敢國神社 阿拜郡一ノ宮村 國幣中社
 諏訪神社 三重郡四日市濱田建 仁二年
 高山神社 安濃郡下郡田村 明治十年
 香良洲神社 一志郡矢野村 欽明天皇御宇
 菅原神社 阿拜郡上野 藤堂氏崇敬ノ祭神
 宇流布志禰神社 名張郡名張 神護景雲元年創立
 神館神社 桑名郡江場村 垂仁天皇十七年
 多度神社 同多度村 天平寶字以前

天武天皇社 同本願寺村 白鳳年間壬申ノ乱 天皇駐紮ノ古蹟

廣幡神社 三重郡揖野村 菟野藩土方氏崇敬
 眞微神社 鈴鹿郡龜山 延享年間藩主 石川氏祖先
 伊奈宮神社 奄藝郡稻生村 崇神天皇五年 古蹟
 意悲神社 飯高郡松阪 蒲生氏鄉崇敬
 神山神社 飯野郡山添村 垂仁天皇二十二年
 磯神社 度會郡磯村 垂仁天皇二十五年 皇大神遷幸古蹟
 春日神社 阿拜郡川東村 神護景雲三年 源實朝崇敬
 杉谷神社 名張郡大屋戶村 鳥羽天皇御宇建立
 産田神社 南牟婁郡有馬村 豐臣秀頼崇敬
 牛鼻神社 同耐田村 國靈日女命天降ノ地ト云フ
 阿倉川神社 三重郡東阿倉川 獅子舞神樂ヲ出ス
 山室山神社 飯高郡山室村 本居宣長墳墓ノ地
 花窟神社 南牟婁郡有馬村 伊勢冊尊及 火軻久穗尊御陵
 白鳥神社 朝明郡富田村 日本武命
 都波岐神社 河内郡神戶 伊勢國一ノ宮

書記八級俸 上田 實
 諸收入分任收入官吏

九級俸 蓮井清純

十級俸 北村六三

拾圓俸 米山彦次郎

九圓俸 王氣幸吉

七圓俸 南雲延五郎

○多氣郡役所 藤田秀吉

郡長 (年俸六百圓) 永島雪江

從七位 間宮齋二郎

書記八級俸 高木一道

十級 野田善三郎

野呂正實

小森安太郎

七圓 大北源次郎

○度會郡役所 郡長 (年俸八百圓) 滿岡勇之助

高等官六等 正七位

書記八級俸 乙部八二郎

九級俸 朝倉寬一郎

從八位 板倉石根

佐藤政溫

村井典四郎

井村芳次郎

野村義知

○阿拜山田郡役所 郡長 (年俸八百圓) 八尾信夫

正七位 野村甲子郎

書記八級俸 富川雅綱

十級俸 岡田積次郎

高井性海

栗本能太郎

林熊太郎

廣岡丑之介

七圓俸 川西貞次郎

○名張郡役所 郡長 (年俸六百圓) 川田茂通

正八位 乘松豐信

書記九級 野村甚平

十級 平井繁男

九圓 町井武男

七圓 大西櫛吉

○若志英虞郡役所 郡長 (年俸六百圓) 勝島政次郎

從七位 馬淵益謙

書記九級俸 渡邊磯

從八位 岡從橋

十級俸 新井雄馬

九圓俸 浦野耕

高津忠光

坂本兵左衛門

○北牟婁郡役所 郡長 (年俸六百圓) 小野武次郎

從七位 中野亮太郎

書記九級俸 岡本勝

十級俸 池田利勝

九圓俸 堀河範之

○南牟婁郡役所 郡長 (年俸六百圓) 新谷貞信

從七位 福喜多繁

書記七級 森本玄瑛

十級 內田周次郎

八圓 南松次郎

六圓 中野爲之助

著名寺院

本統寺 (真宗)	桑名寺町	慶長七年建立	本願寺別院
法盛寺 (同)	同萱町	嘉祿六年	宗祖ノ弟忠圓開基
照源寺 (同)	東方町	寬永元年	桑名藩主菩提所
觀音寺 (淨土)	三重郡六呂見村	天平九年	聖武天皇救願所
遍照院 (真言)	同東坂部村	僧行基開山	弘法留錫ノ地
石藥師寺 (同)	鈴鹿郡石藥師	神龜十年	嵯峨天皇救願所
野登寺 (同)	同安坂山村	延喜七年	醍醐天皇救願所
專修寺 (真宗)	奄藝郡一身田	嘉祿二年	高田派本山
觀音寺 (真言)	同寺家村	聖武天皇	救願所
國分寺 (淨土)	河曲郡神戶石橋	同	上
四天王寺 (曹洞)	津市柴町	推古天皇御宇	聖德太子建立
天然寺 (淨土)	津市乙部	藤堂氏歸依	
西來寺 (天台)	同上	延德二年	僧圓戒開基
願王寺 (同上)	同上	慶長三年	藤堂氏菩提所
觀音寺 (真言)	津大門町	和銅年間	本尊阿彌佛ヨリ出現
青巖寺 (真宗)	一志郡小山村	北畠具親	建立
天花寺 (曹洞)	同天華寺村	孝德天皇	救願所
眞福院 (真言)	同三多氣村	昌泰二年	北畠氏祈願所
安樂寺 (曹洞)	同波瀨村	延喜十九年	醍醐天皇救願所
神宮寺 (真言)	飯高郡丹生村	寶龜五年	僧勤操開基

來迎寺 (天台)	松阪北島村	永正八年	建立
樹教寺 (淨土)	松阪新町	京洛知恩院末利	古田兵部少輔崇敬
清光寺 (淨土)	松阪職人町	天平十一年	基開
常念寺 (真言)	同中町	建保二年	僧眞惠中興
繼松寺 (真言)	同上	天平十五年	孝德天皇救願
龍泉寺 (同)	同愛宕町	正親町天皇	三月救願
國分寺 (真言)	飯高郡伊勢寺村	天平九年	聖武天皇救願所
橫瀧寺 (淨土)	同上	天平九年	僧行基開基
朝田寺 (天台)	飯野郡朝田村	延曆十五年	弘法開基
一乘寺 (同)	同中万村	推古天皇	六年建立
近長谷寺 (真言)	多氣郡長谷村	仁和元年	飯高宿禰建立
金剛座寺 (天台)	同神坂村	白鳳九年	藤原談海公建立
金剛證寺 (臨濟)	度會郡朝熊村	推古天皇	以下
光明寺 (臨濟)	度會郡山田岩淵	天平年間	聖武天皇救願僧月波中興
靈山寺 (黃檗)	阿拜郡下栢植村	嵯峨天皇御宇	僧像教開基源賴朝祈願所
新大佛寺 (真言)	山田郡富永村	源賴朝	建立
丈六寺 (同)	名張郡丈六村	弘法	開基
國分寺 (天台)	荅志郡國府村	聖武天皇	救願所
常安寺 (曹洞)	鳥羽本町	文祿三年	九鬼嘉隆建立
光福寺 (同)	南牟婁郡神山村	元曆年間	平維盛建立
最明寺 (同)	同二木島浦	北條時賴	建立
正福寺 (真言)	志州青峯	舟子ノ信仰	殊ニ厚シ
大信寺 (真宗)	松阪西町	北條時代	建立
養泉寺 (曹洞)	松阪中町	安濃津	四天王寺末

立見對福二のい多國三

山田の人力車	源氏車の手ぬぐひ	講参り組印の旗	四日市の荷車	諸戸の地持丸	松阪の鮓家
土井發牙の偽筆	小津與右衛門の應舉	第五區の改進黨	第五區の自由黨	宮川の觀櫻	鳥羽のぼらだて
春の旅人	東京行の丁稚	津市の醫師	松阪言葉のナ	赤根稻荷の鳥居	桑名の渡船
娼妓貸座敷	米穀取引所	松阪の寺院	壺屋の本家	一身田の僧侶	津市の書生
伊賀松蓆	伊賀松蓆	久居の桃林	南勢の人名よふといふ字	富田女子の綱すき	四日市の肥料商
伊賀松蓆	伊賀松蓆	宮川の觀櫻	北勢の姓氏よ伊藤の二字	土呂西所女子の海草賣	桑名の米穀商
伊賀松蓆	伊賀松蓆	久居の桃林	四日市の漁船	鳥羽の碇泊船	四日市の肥料商
伊賀松蓆	伊賀松蓆	久居の桃林	田端屋の持丸	鳥羽の碇泊船	桑名の米穀商
伊賀松蓆	伊賀松蓆	久居の桃林	諸戸の地持丸	鳥羽の碇泊船	桑名の米穀商
伊賀松蓆	伊賀松蓆	久居の桃林	田端屋の持丸	鳥羽の碇泊船	桑名の米穀商
伊賀松蓆	伊賀松蓆	久居の桃林	諸戸の地持丸	鳥羽の碇泊船	桑名の米穀商

附番立見川山

山里數ハ麓ヨリ絶頂マテヲ云フ

川里數ハ源ヨリ河口迄ヲ云フ

大關 三重千草二里卅二丁	關脇 三重千草二里卅七丁	小結 朝明田光二里十丁	前頭 桑名篠立二里	同 三重コモノ二里	同 度會アサマ二里	同 度會前山二里	同 コモノ二里	同 上三里卅六丁	同 一志小川八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 一志小川八里	同 一志小川八里	同 一志小川八里
大關 大臺ヶ原三十三里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁
大關 飯高舟戸十七里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁
大關 飯高舟戸十七里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁
大關 飯高舟戸十七里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁
大關 飯高舟戸十七里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁
大關 飯高舟戸十七里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁
大關 飯高舟戸十七里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁
大關 飯高舟戸十七里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁
大關 飯高舟戸十七里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁
大關 飯高舟戸十七里	關脇 飯高舟戸十七里	小結 一志八知十二里	前頭 大和吉ノ十七里	同 度會永會十二里	同 員弁篠立九里二十丁	同 員弁篠立九里二十丁	同 鈴鹿加太八里	同 鈴鹿加太八里	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁	同 三重千草七里十八丁

行司 大臺ヶ原

木臺ヶ原

勸進元 御所 見ヶ岳山

大關 名士がつて何時も撰果にまけて身代置す候補者
謝金を先取して訴訟をおこたる
客のさし金をせしめて解合で斷つゝか米商仲買

小結 外へゆくに質屋で着物を着かへてゆく人
結構な商賣やめて茶屋稼業を始める人
應來でなければ金がとれぬといふ藝妓
大切の用を止めて交際の宴會に行へ人
債主に酒を飲して借金の斷りいふ人

全全全全全 朝飯を料理屋で食ふ人
節季前になると戸閉をして留守の人
養子に行へ母娘に通するもの

論法

た

外當世見立鑑

大關 株金募集を唱へて内實ゆすりをする
地元の賄賂を食つて無用の土木費を提出する議員

小結 株主に損をかけて己が懐中を温める會社の重役

前頭 家賃やら歩いて家あけぬ人
女房子をひかへて遊藝に身を入る人
米屋のこどろりいふて女郎屋の拂をする人

全全全全全 藝を去つて後家の家へ養子に行く人

全全全全全 旦那の用に出てすくゝ登樓する店のもの
樓主と通じて借金を棒に引く娼妓

全全全全全 からかさ借りて催促うけるまで戻さぬ人
惚れられた積りで金をとられるもの

有るやうで無もの

大關 代議士の眞實費
小結 娼妓の利
前頭 相師の術
全全全全全 醫國の兵衛
全全全全全 宗教の天道地
全全全全全 辨護士の義
全全全全全 投票數の豫
全全全全全 富洲の密學
全全全全全 雲

有るやうで無もの

大關 書生の辛業
小結 白鼠の番頭
前頭 名實の眞識
全全全全全 篤實の眞筆
全全全全全 點取の秀角
全全全全全 易者の方

無

有

見立

競

無やうで無もの

大關 客財性下玉疵ひ具
小結 容財性下玉疵ひ具
前頭 客財性下玉疵ひ具
全全全全全 盜賊の義理
全全全全全 蜂の佛信者
全全全全全 山田の櫻川
全全全全全 津市の角三組
全全全全全 加太の力和人
全全全全全 拙堂の和歌
全全全全全 土居氏の運動費

貧乏人の子供
娼妓の妊婦
やもめの子ら
若後家の娛み
名人の不勉強
老人の腎張
女房にまかれる人
愛子に責める灸

客財性下玉疵ひ具

大關 眞實費
小結 利
前頭 術
全全全全全 兵衛
全全全全全 天道地
全全全全全 義
全全全全全 豫
全全全全全 密學
全全全全全 雲

無やうで無もの

大關 代議士の眞實費
小結 娼妓の利
前頭 相師の術
全全全全全 醫國の兵衛
全全全全全 宗教の天道地
全全全全全 辨護士の義
全全全全全 投票數の豫
全全全全全 富洲の密學
全全全全全 雲

無やうで無もの

大關 客財性下玉疵ひ具

全全全全全

四 季 遊 覽 見 立 競

大關 冬	一身田	報恩	講秋	三	重	水澤の紅葉夏	ス、カ	坂下ノ河鹿	飯高 いぶた山上
關脇 春	山田	林崎文庫櫻	冬	松	阪	愛宕	市四季	島ヶ原ノ湯	ス、カ 桃山もうで
小結 秋	イカ	上野菅原祭禮	夏	山	田	うら	盆會夏	全	關まつり
前頭 夏	桑名	多度	社	馬	詣	磯部	田植祭秋	飯野	河曲 奈古ノ濱風景
全	四季	山田	神苑ノ	景	冬	觀音ノ	夜景ナツ	山田	多氣 丹生の大師
全	春	一志	久居	桃	林	神戶ノ	春市全	イガ	飯野
全	四季	ト	日和	山	風	垂坂ノ	山遊北	尾	飯高
全	春	山田	宮川	櫻	冬	雨龍ノ	夏越全	尾	飯高
全	春	津海邊	楯子	綱	冬	四日市ノ	山神	尾	飯高
全	春	津海邊	楯子	綱	冬	阿漕ノ	千島全	尾	飯高
全	春	津海邊	楯子	綱	冬	大石ノ	不動	尾	飯高
全	春	津海邊	楯子	綱	冬	星川ノ	風景	尾	飯高

伊勢 兩宮 參拜

大關 四季 度會	二見ヶ浦	春	一身田	志	三多氣の櫻	四季 度會	三	重	飯高
關脇 九月 三日	重	四日市	祭禮	秋	一身田	專修寺	千部	春夏秋冬	ス、カ 桃山もうで
小結 四季	津	公	園	夏	津	岩田川	納涼	秋	關まつり
前頭 夏	クワナ	石	探	祭	河	神戶	の	釋迦	飯野
全	春	松	阪	初	午	伊賀	松茸	待冬	山田ノ護摩
全	四季	度會	朝	熊	詣	川口ノ	夕涼	四季	廣瀬野うづら
全	春	志	マ	島	廻	白子ノ	初觀音	ナツ	飯野
全	四季	津	觀	音	會	泊リ	地蔵	詣	飯野
全	四季	津	香	良	洲	結城	祭籠	馬	飯野
全	秋	津	八	幡	祭	筆拾	山眺	望	飯野
全	夏	松	阪	祇	園	の	ぼく	觀音	飯野

三 國 藝 妓 花 競

津市 壽樓	花	助	古市	備前屋	伊勢松	娼	妓	津市	壽樓	靜
同	全	め	た	八	同	全	八	重	吉	津市
桑名	三好屋	おも	ちや	山田	津嶋屋	桃太郎	同	全	小	波
同	全	八	同	全	八	重	吉	津市	菊	半
松坂	菜花樓	梅	吉	四日市	海月樓	しげ	子	古市	備前屋	お
津	菊半樓	鶴	助	津	菊	半	つ	る	松	同
同	岡田屋	洞	八	松坂	廣月樓	彌次	八	松坂	常盤	三
同	大觀亭	米	八	同	殘月樓	米	八	津	壽	小
津市	聽潮館	照	吉	山田	新川樓	力	八	娼	妓	津
同	全	園	吉	同	全	一	九	津	壽	樓
同	壽	樓	米	八	四日市	鴨川樓	仇	吉	同	全
同	山	半	錦	八	同	煙波	八	百	吉	松坂
松坂	廣月樓	一	八	松坂	菜花樓	小	龍	桑名	菊	水
津	大觀亭	糸	吉	津	聽潮館	桃	助	同	味	岡
古市	杉本屋	八十八	全	中	町千歲軒	一	八	津	壽	樓

本表掲ぐべき美影藝妓其數挙げべきならねど編者は無粹の骨頂僅かゞ洩聞しものを掲ぐるのみ

大關	松阪	小津清左衛門	一志	小津六三郎
關脇	津	川喜田久太夫	度會	吉田善三郎
小結	全	中條瀨本	四日市	吉田伊兵衛
前頭	松阪	長井九郎左衛門	三重	松岡明寛
同	四日市	森寺喜兵衛	飯高	井上増五郎
同	牟婁	土井幹夫	松阪	横山三郎右衛門
同	四日市	村田七右衛門	松阪	二井與吉
同	桑名	貝塚卯兵衛	松阪	藤村文兵衛
同	一志	松島吉右衛門	名阪	佐藤義一郎
同	飯野	服部源三郎	松阪	西川増次郎
同	飯高	堀内利右衛門	クワナ	森純次郎
同	度會		西	西村安太郎

三國持丸鑑

大關	桑名	諸戸清六	飯野	富永小左衛門
關脇	松阪	長谷川治郎兵衛	イナベ	木村誓太郎
小結	四日市	九鬼紋七	桑名	平野勘六
前頭	松阪	小津與右衛門	山田	山羽九郎兵衛
同	飯野	國分勘兵衛	山田	野村四郎兵衛
同	四日市	田中武兵衛	桑名	下里貞吉
同	飯野	中井平右衛門	クワナ	與弓屯之輔
同	員辨	和波久一郎	三重	岩田彦五郎
同	全	稻垣專八	飯高	伊藤傳七
同	桑名	梶島茂吉	桑名	井上吉郎右衛門
同	三重	伊藤小左衛門	四日市	伴七藏
同	飯野			三輪猶作

河曲	一志	宮村彦治郎	全	四日市	三重紡績會社
河曲	クワナ	廣瀬與左衛門	全	四日市	四日市製油所
河曲	クワナ	川喜田四郎兵衛	山田	山田米穀取引所	
河曲	イナベ	野間國彦	イガ	上野米穀取引所	
河曲	牟婁	速見熊太郎	松阪	松阪米穀取引所	
河曲	朝明	大塚八郎兵衛	四日市	共立造船株式會社	
河曲	イガ	筒井喜一郎	山田	山田製絲場	
河曲	全	管野亮太郎	四日市	四日市精米所	
河曲	全	森川六右衛門	四日市	三重土木會社	
河曲	イガ	井坂又右衛門	イガ	上野倉庫會社	

元進勸 田中治郎右衛門

朝明	内田忠藏	吉田千九郎	四日市	關西鐵道會社
朝明	クワナ	松谷祐左衛門	四日市	桑名米穀取引所
朝明	全	山中傳四郎	津	米穀取引所
朝明	飯高	村山善藏	ツ	第五國立銀行
朝明	朝明	天春文兵衛	上野	第八拾三銀行
朝明	多氣	土屋金十郎	桑名	第百廿二銀行
朝明	四日市	吉田常吉	山田	田銀銀行
朝明	イナベ	中川十一郎	ツ	農商銀行
朝明	一志	小林嘉平次	龜山	山銀銀行

三國人物集

田丸具直	天正年中度會郡田丸城主	北島顯能	伊勢國司
愛洲内膳正	永祿中同上伊勢路村城主	北島具教	同上天正四年信長ノ爲メ滅サレ
伊勢三郎義盛	源平時代度會郡江村ニ生ル義經ノ臣	陸子内親王	醍醐天皇ノ皇子章明親王ノ第一女天延二年多氣郡馬上村ニ薨ス但齋宮四十一代タリ
北畠中納言顯家	陸奥國司延元三年泉州境ニ於テ討死臣僚骨ヲ度會郡山田吹上町光明寺ニ葬ル	平忠盛	仁平三年多氣郡河田村字坂倉ニ卒ス
倭姫命	雄略天皇二拾三年山田尾上陵ニ退隱	吉田齋兵衛兼房	北畠ノ遺臣怪力ヲ以稱セラ
福島正頼	正則ノ弟寛永年中罪ヲ得テ山田一ノ木ニ蟄居ス	九鬼嘉隆	天正年中志州鳥羽城主
秋田城之介實季	萬治二年度會郡朝熊村ニ死ス陸奥三春城主ノ祖先	空也上人	飯野郡立田村字西ノ口ニ碑アリ但シ空也參宮ノ途念佛ヲ唱ヘ立ナカラ往生ス
福原右馬助	石田三成ノ女婿關ヶ原破レテ山田ニ逃レ終ニ自殺ス	伊勢新九郎	飯野郡射和ニ出生ス後ニ北條早雲是レナリ
三好長秀	元長ノ子永正五年北畠ト戰ヒ山田宮川町ニ死ス	仁木右京太夫義長	足利統權頼章ノ弟飯野郡中万村一乘寺ニ自刎ス
北畠晴具	伊勢國司	蒲生氏郷	天正年中松阪城主タリ後ニ奥州ニ移ル

坂内滿輔入道	飯高郡坂内村ニ城主タリ天正四年滅亡ス	潮田長助	磐力ヲ以テ名アリ四五百森城主タリ死シテ飯高郡塚本村ニ葬ル
本多美作守	飯高郡船江城主天正年中領地ヲ失フ	潤田莊右衛門	飯高郡大足村ノ人ナリ享保年中義俠ヲ以テ名アリ
本多千勝丸	美作守ノ子ナリ蒲生氏郷ニ仕フ	大宮尾張守	一志郡阿射加城主北畠ノ臣延元中武勇ヲ以テ稱セラレ大ニ足利勢ヲ討ツ
大石御所	但シ國司北畠材親薙髮シテ大石村ニ隱ル	大宮含忍齋	天正年中信長ト戰ヒ城陥イリテ誘殺セラレ
若木田守武	山田ノ人國學ヲ以テ海内ニ名アリ	津川玄蕃頭	信雄ノ臣ナリ一志郡松ヶ島ニ據ル
奥田三角	津藩ノ碩儒	藤堂高通	藤堂高次ノ二子久居藩ノ祖先ナリ
谷川士清	津藩ノ醫師ニシテ國學ヲ以テ名アリ和劑業ヲ著ハス	園大納言	往昔大納言城ナリ一志郡天花寺ニ築キ之ニ居リシト云フ
北畠具親	具教ノ弟北畠ノ滅亡ヲ憤ホリ義兵ヲ舉ケ成ラスシテ毛利氏ニ依ル	天花寺藏人	建徳年中軍功ヲ以テ稱セラレ天花寺ニ城主タリ
山室兼高	建暦二年飯高郡山室山ニ城ヲ築ク天正四年田丸城ニ自殺ス	家城主人正	一志郡南家城村字上廣ニ城ヲ築キ天文中之ニ居ル
本居宜長	國學中興ノ祖享和元年九月没ス	田上讀岐守	一志郡八田ノ城主秀吉ニ仕ヘ文祿ノ役朝鮮ニ戰死ス
平田篤胤	宣長ト共ニ國學ノ先輩タリ山室神社ハ二師ノ靈ヲ祭ルモノナリ	榊原清長	一志郡榊原ノ城主後ニ三河ニ移リ徳川氏ニ仕フ蓋シ四天王ノ隨一榊原康政ハソノ次子ナリ
古田重勝	慶長中松阪ノ城主タリ琉球茶法ノ開祖	木造左衛門雅俊	同郡波瀨村城主北畠ノ臣ナリ天正五年滅亡

藤原 千方
 大中 臣定高
 平 照盛
 赤 松教康
 結 城宗廣
 安乃 津三郎貞衡
 佃 野藤教
 富田 信濃守知信
 本 居大平
 藤堂 和泉守高虎
 藤 堂高免
 津 坂孝緯

天智天皇ノ御宇叛逆チ企テ一志郡城立村ニ據ル
 養和元年平家誅滅ノ祈願チ籠メント大廟ニ詣テ途一志郡曾原ニ卒ス
 天文元年九月一志郡波瀨村ニ卒ス
 滿祐ノ子ナリ嘉吉元年將軍義教ヲ弑シ遣レテ北信氏ニ依ラントシ却テ一志郡萩原ニ断ラル年十九
 建武三年九月十一日颶風ニ遭ヒ阿濃津ニ没ス
 平正衡ノ三男貞元年中城ヲ安濃津ニ築キ代々之ニ居ル
 永祿十一年信長ノ爲メ滅亡
 安濃津ニ城主タリ慶長五年毛利秀之等ニ攻メラレ剃髮シテ高野山ニ遁ル
 宣長翁ノ高弟
 津藩ノ祖慶長十三年伊豫國ヨリ津城ニ移リ三十五萬石ヲ領ス
 文政年中藤堂家中興ノ明主文學ヲ起シ武術ヲ勵シ大ニ勤王ヲ唱フ
 津藩ノ碩儒ニシテ學校ヲ起シ文學ヲ盛ニシタルハ主トシテ此人ナリ

猪 飼 敬 所
 齋 藤 拙 堂
 松 尾 桃 青
 小 森 伊 豆 守 景 成
 工 藤 祐 長
 長 野 藤 房
 藤 方 慶 入 道
 平 維 盛
 孝 女 登 世
 僧 清 韓
 夢 窓 國 師
 小 川 天 保

京師ノ儒者頼山陽ト名チ比シクス後藤堂家儒臣トナル
 近代ノ名儒世間ソノ名チ知ラサルナシ
 俳諧ノ祖ニシテ伊賀上野藤堂新七ノ士分タリ風流ヲ以テ一世ニ名アリ
 恒貞親王三十六代ノ孫故アリテ高虎ノ客トナリ安濃津庭岩寺ヲ建立シ僧トナリテ終ル
 安濃郡長野ニ城主タリ
 祐長ノ孫タリ正平七年大ニ武功ヲ顯ハス
 永祿中安濃郡藤方ノ城主其子刑部ノ不義ヲ憤ホリ淵ニ投シテ死ス
 平家没落ノ後熊野浦ニ入水スト唱ヘ潜カニ安濃郡河内村ニ隠レ承元四年卒ス
 安濃郡連部村ニ産ス文化年中官米金ヲ與ヘ其孝ヲ賞ス
 豊臣秀頼ノ爲メ方廣寺ノ鐘銘ヲ作りシ僧ナリ奄藝郡三宅村ノ産
 奄藝郡三宅村ニ産ル其事跡今ニ存ス
 津ノ人ナリ奇チ以テ名アリ

川 北 久太夫
 奥 山 東 雲
 岩 尾 正 作
 關 友 盛
 神 戶 與 五 郎
 本 多 忠 純
 山 路 彈 正 忠
 松 平 忠 廣
 山 邊 眞 人
 加 藤 太 光 貞
 加 藤 次 景 廉
 右 馬 左 衛 門
 岡 本 宗 憲

國學和歌ヲ以テ譽レナ博シ靈元上皇ノ御詠ヲ賜ヒシ人ナリ
 山田ノ人ニシテ文政年中奇人ヲ以テ名アリ
 津藩ノ能役者ニシテ江戸ニ出テ將軍家ノ觀覽ニ供シ大ニ名譽ヲ博ス
 永祿年中河曲郡神戶ノ城主タリ
 織田信雄ノ臣神戶氏ヲ嗣キ城主タリ後尾張ニ奔ル
 享保十七年移リテ神戶城主タリ列世相繼グ
 關友盛ノ臣高岡ニ城主タリ勇畧アリ後信雄ノ爲メ殺サレ
 三河ヨリ國乱ヲ避ケ神戶ニ隱ル天文八年國ニ歸ル
 延曆十二年人ヲ殺シ河曲郡山邊村ニ隠ル後巨勢朝臣ニ殺サル
 河曲郡柳村柳馬入道ノ養子景員子源頼朝ノ爲メ八牧判官ヲ殺シタルハ此二人ノ兄弟ナリ後功ヲ以此地ヲ領ス
 同郡山邊村ノ里老春日某頼朝ニ名馬生暖ヲ獻シ依テ此ノ名ヲ賜フ
 鈴鹿郡龜山ノ城主タリ慶長五年石田三成ニ黨シ封除ク

關 一 政
 石 川 總 慶
 平 資 盛
 岡 部 六 彌 太 忠 澄
 惡 七 兵 衛 景 清
 八 百 比 丘 尼
 千 種 少 將 忠 顯
 南 川 治 郎 左 衛 門
 土 方 雄 久
 田 原 景 信
 楠 十 郎 貞 孝
 杉 谷 善 住 房

岡本ニ代リ龜山ノ城主タリ慶長十五年伯耆黒坂ニ移ル
 延享元年龜山城主タリ子孫相繼グ
 嘉應二資盛勘氣ヲ受ケ鈴鹿郡久我村ニ流サレ居ルコト六年
 元暦元年忠澄平忠度ヲ獲タルノ功ニ依リ莊園ヲ鈴鹿郡ニ賜フ
 平家侍大將鈴鹿郡邊法寺ニ宅址アリ
 往昔若狭國ニ美婦アリ年齒八百ヲ經テ艶色譬フルニ物ナシ依テ此名アリ後鈴鹿郡中ニ終ル
 建武元年功ヲ以テ三重郡并四郷ヲ領シ千種城ヲ築ク其子天正十二年秀吉ノ爲メ陷ル
 龍川一益ノ臣永祿年中三重郡藤野ニ代官タリ
 藤野ノ藩祖タリ
 應永年中下野ヨリ移リ三重郡赤堀庄ニ城ヲ築ク
 三重本郷村ニ城ク永祿十一年二月滅フ
 元順元年信長淺倉征伐ノ折三重郡千種峠ヲ越ユルル折撃セントセシ僧

●書後一言

本表は主人が好事の餘り、それ／＼に認め備へ置きしを、文言堂の老人、慈徳づくめ上梓して一儲けせんとて、頼りに申出られ校正もせて草按のまゝ、貸與へけるに、既に印刷出来上りぬと、原本を返されし毎打驚き、這は怪しかる事ぞ、中には世に憚る事も多くあるべきに、杜撰の事をせしと後悔すれど及ひざ、尙ほ詳かに能く窺へば脱字誤謬も少からぬべ、茲に角誤り丈けを左に記して、草卒のわざのみを謝せんとて、茲にことわけ申すにむ

蝸牛廬主人述

●正誤

- 一枚目畫家の内太田樓の樓の誤
- 同俳人の部田中果權は權の誤
- 同伸士長谷川治郎右衛門は治郎兵衛の誤
- 五枚目常念寺眞言は宗の誤
- 七枚目十行目雲洲は州の誤
- 八枚目旅人宿三行目津屋喜は桔梗屋の誤
- 同、貸座敷左方五行目勢州樓は對勢の誤
- 九枚目二段初行富永は富山の誤
- 十枚目初段七行目天春文兵衛三字の内兵字を除く



明治廿七年十二月廿五日印刷
同 廿八年一月一日發行

(實價拾三錢)

三重縣伊勢國飯高郡松阪町
大字新町四拾番屋敷平民

著者兼 川 口 瀧 造

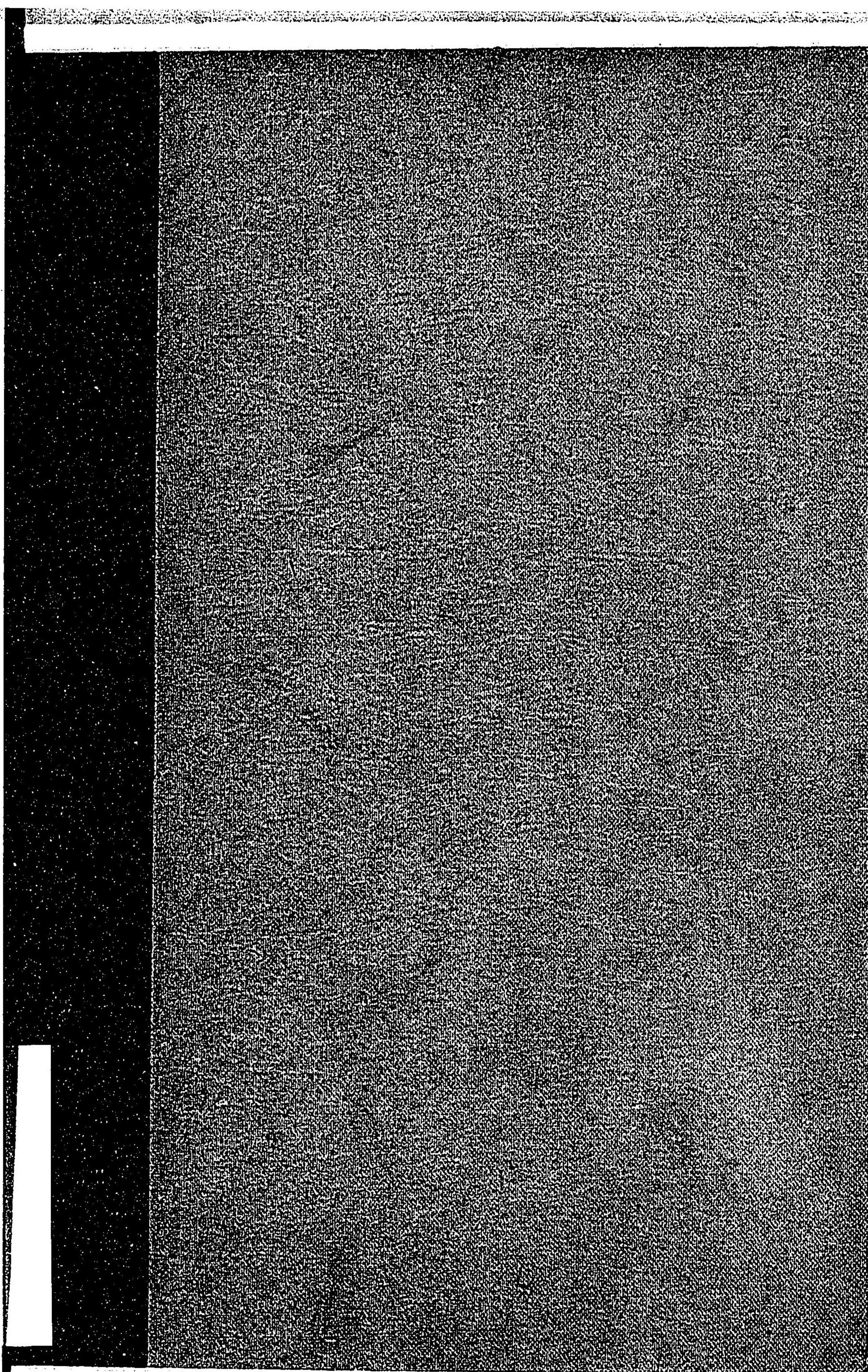
全縣全國全郡全町大字日野町
五拾壹番屋敷平民

發行者 中 西 嘉 助

全縣全國全郡全町大字日野町
三拾番屋敷

印刷所 伊勢新聞社松阪支局

5680



特55
198

一覽博識 三重県番附百種

国立国会図書館

025671-000-5

特55-198

三重県番附百種(一覽博識)

川口 滝造/著

M28

ADC-3193

